

第110期 事業のご報告

株主通信

2019年4月1日～2020年3月31日

株式会社 椿本チエイン

証券コード | 6371



つばきグループは、モノづくりの枠を超えたソリューション提供により、社会に貢献します。

株主の皆さまには、平素より格別のご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

また、この度の新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さま、および感染拡大により困難な生活環境にいらっしゃる皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

2019年度の連結業績について

2019年度の連結業績は、売上高2,264億円、営業利益161億円(営業利益率7.1%)となりました。

売上高については、国内におけるマテハン事業は堅調に推移しましたが、米中通商問題や英国のEU離脱問題などに伴う世界景気の減速、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行などにより、前年度比5.1%の減収となりました。

営業利益についても、減収に伴い売上総利益が減少したこと、自動車部品事業における減価償却費の増加やプロダクトミックスの悪化などにより、前年度比25.9%減となりました。

2020年度の連結業績予想について

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、5月27日の時点で合理的な業績の見通しを算定することが困難な状況であることから、2020年度の連結業績予想ならびに配当予想を未定といたしました。連結業績予想、配当予想につきましては、算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

厳しい状況下ではございますが、当社グループのあるべき姿「グローバルトップ企業」は変わりません。最終年度を迎えた「中期経営計画2020」の課題に引き続き取り組み、「モノづくり企業」としての事業基盤を強化すると同時に、モノづくりの枠を超えたソリューション提供による社会貢献、株主価値向上を目指してまいりますので、株主の皆さまには、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

連結業績ハイライト

売上高	2,264 億円	前年度比 5.1% ↓
営業利益	161 億円	前年度比 25.9% ↓
親会社株主に 帰属する 当期純利益	115 億円	前年度比 16.0% ↓
1株当たり 配当金	120 円	前年度比* 変わらず →

※2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。株式併合後の基準で換算した、2019年3月期の1株当たり年間配当額は120円となります。

代表取締役会長
兼CEO
長 勇

代表取締役社長
兼COO
大原 靖



10年ぶりの！
紙面工場見学

チェーン事業のマザー工場 京田辺工場

工場プロフィール

所在地 | 京都府京田辺市
甘南備台1-1-3
操業開始 | 2001年6月
敷地面積 | 230,000㎡
従業員数 | 約1,200名

TSUBAKIのチェーンができるまで

01

材料の調達



品種・部品ごとに最適なTSUBAKI独自の材料(コイル材、線材など)を採用します。

02

部品の加工



高速プレスによるリンクプレート成形をはじめ、2万種類にもおよぶチェーンの部品を製造します。

03

熱処理



チェーンの強度を高める大事な工程。部品ごとに最適な処理方法で鋼の能力を引き出します。

「品質モデル工場」としての取り組み

当社は、各事業部の品質部門に加え、2018年4月に本社に品質管理部を新設、「つばきグループ品質基本方針」を改定し、品質管理体制の強化と、グループ全員の品質意識向上に取り組んできました。

その中で、京田辺工場は、つばきグループの「品質モデル工場」をめざし、品質不良ゼロの実現に向けた工程づくりや人材教育の充実など、顧客の要求品質を満足させるモノづくりに努めています。成果は着実に表れており、2019年度の京田辺工場に寄せられるクレーム件数は、2016年度比で約56%の減少となりました。

執行役員 経営企画担当 兼 経営企画室長 京田辺工場長 明坂 泰宏



時代のニーズを先取りした、約2万種類のチェーンを製造

1917年の創業以来、培ってきた確かな技術力と品質で、産業用スチールチェーンの分野で世界トップシェアを獲得。世界最小から世界最大レベルまで、またスチール製からプラスチック製まで約2万種類におよぶ多品種・多機能のチェーンをラインアップ。



ドライブチェーン



コンベヤチェーン



トップチェーン



ケーブル・ホース支持案内装置

04

組立



標準タイプのチェーンは、自動組立機により1分間に約5mのチェーンを効率よく組み立てます。

05

塗油



さびを防止して、耐久性を高める塗油工程の後、梱包工程へ。

06

梱包・出荷



お客様の元へ商品をお届けします。

製品例：ケーブルベヤ®



ケーブルベヤは、電線ケーブルや油圧・空圧などのホースを通し、移動する装置と固定側との間でケーブルやホースを確実に支持案内する装置です。ここでご紹介するのは、自動車に搭載される使用事例です。自動でスライド開閉するドアに使用され、乗降ステップの下部などに取り付けられています。スライドドアタイプの自動車は、日本のほか中国・韓国でも人気が高まっており、当社のケーブルベヤが採用される事例も増えてきています。

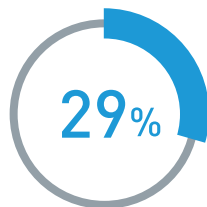


チェーン事業

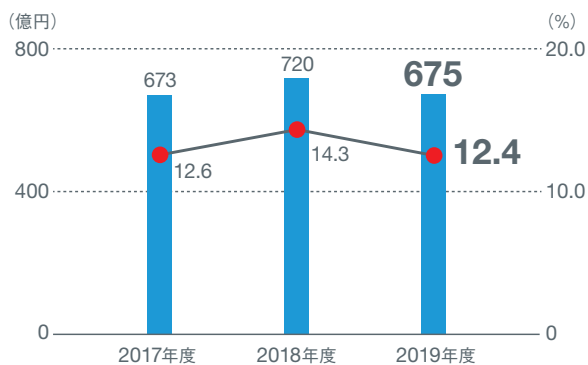
産業用スチールチェーンは
世界シェアNo.1

モノ動くところに「チェーン」あり。国内外のあらゆる産業、用途に応じ、世界シェアNo.1の産業用スチールチェーンをはじめとした約2万種類の豊富なラインアップから最適なチェーンを最高の品質と最短の納期でお届けしています。

セグメント別売上高構成比*1



売上高*2/営業利益率



【主要商品】

ドライブチェーン、コンベヤチェーン、スプロケット、ケーブル・ホース支持案内装置など

シェアは当社調べ

2019年度の概況

日本国内におけるコンベヤチェーン、欧州におけるドライブチェーンなどの販売は堅調であったものの、日本国内におけるケーブル・ホース支持案内装置、米州や東アジア地域における各種チェーン商品の販売が低調であったことから、前年度比で減収。

上席執行役員 チェーン事業統括
永井 康詞



精機事業

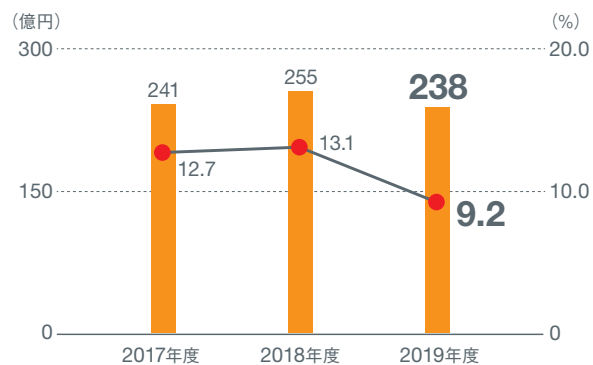
減速機、直線作動機などの
豊富な商品群

「Motion & Control」の分野で、独自の複合化技術と豊富な品揃えを生かし、産業機械の複雑な動きを精密にコントロールする精機商品群。エレベータの昇降や立体駐車場、アーケードの屋根開閉、風力発電やスキーリフトなど、日常生活のさまざまなシーンでも活躍しています。

セグメント別売上高構成比*1



売上高*2/営業利益率



【主要商品】

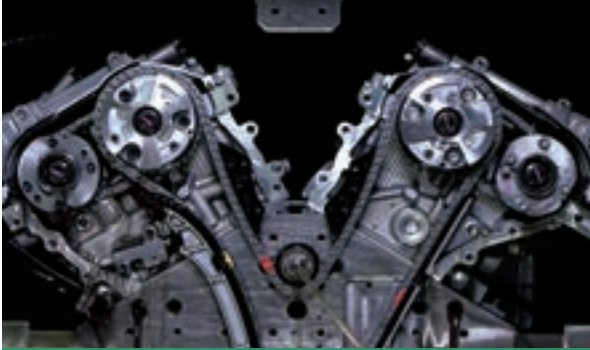
減速機・変速機、直線作動機、軸継手、締結具、クラッチなど

2019年度の概況

日本国内におけるクラッチの販売が堅調であったものの、日本国内や中国における減速機、環インド洋地域におけるクラッチ、米州や欧州における各種精機商品の販売が減少したことなどから、前年度比で減収。

専務執行役員 精機事業統括
川口 博正





自動車部品事業

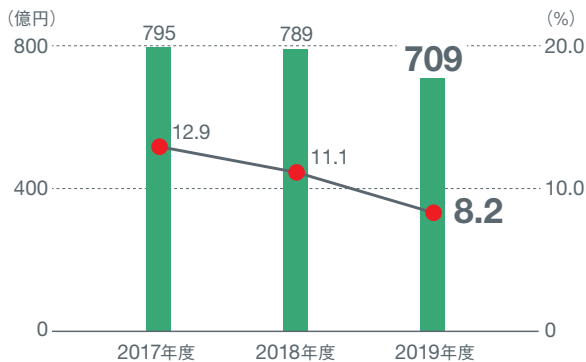
エンジンの高性能化を支える
タイミングチェーンシステム

自動車エンジンの高性能化、エコ化に寄与するタイミングチェーンシステムで、国内68%、世界37%とトップシェア。日本、米国、英国、タイ、中国、韓国、メキシコ、チェコの各拠点から供給されるその品質と技術は、世界の自動車メーカーから高い信頼を獲得しています。

セグメント別売上高構成比*1



売上高*2/営業利益率



【主要商品】

タイミングチェーン、テンショナ、ガイド、レバー、スプロケット、トランスファー用チェーンなど

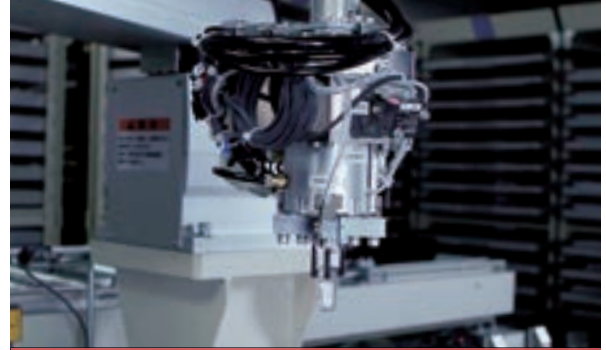
シェアは当社調べ

2019年度の概況

韓国やメキシコの拠点においてエンジン用タイミングチェーンシステムの販売が増加、欧州における同商品の販売が横ばいで推移したものの、日本、米国、タイ、中国の各拠点で同商品の販売が減少したことなどから、前年度比で減収。



上席執行役員 自動車部品事業統括
宮地 正樹

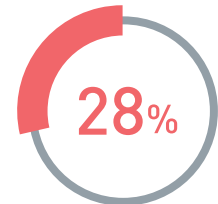


マテハン事業

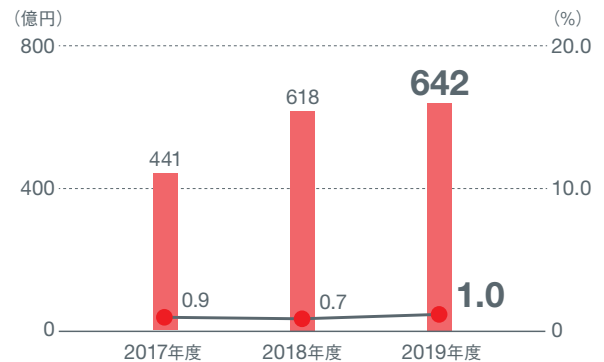
生産性向上に寄与する
ソリューションを提供

物流業界向け自動仕分け装置、ライフサイエンス分野向け超低温自動保管庫のほか、自動車業界向けの車体搬送設備、セメントなどの粉粒体搬送コンベヤや工作機械向けの金属切り屑搬送・クーラント処理装置など、お客様の生産性向上に寄与する高度なソリューションを提供しています。

セグメント別売上高構成比*1



売上高*2/営業利益率



【主要商品】

物流業界向けシステム、自動車業界向けシステム、ライフサイエンス分野向けシステム、粉粒体搬送コンベヤなど

2019年度の概況

日本国内における物流業界向けシステムや新聞印刷工場向けシステムの販売が増加したことに加え、日本国内や中国での粉粒体搬送コンベヤ、米州における自動車業界向けシステムの売上が増加したことなどから、前年度比で増収。

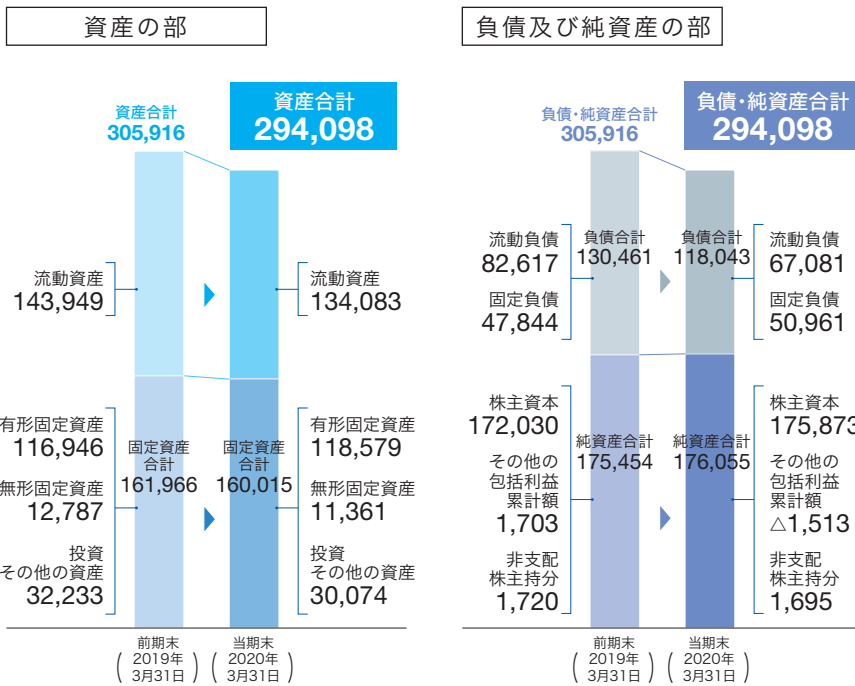


常務執行役員 マテハン事業統括
木村 隆利

*1 セグメント別売上高構成比は「外部顧客に対する売上高」を基準に算出しています。 *2 売上高には「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

連結貸借対照表の概要

(百万円)



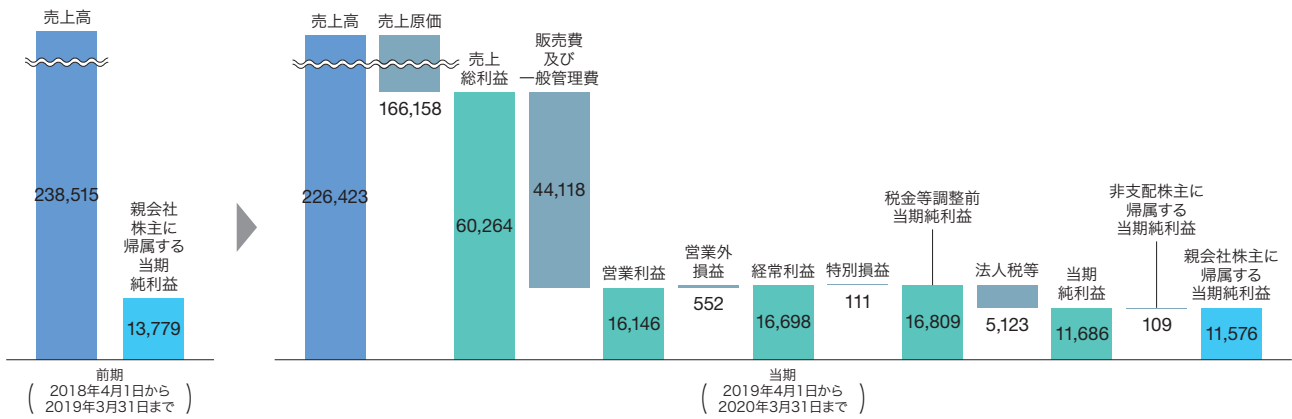
さらに詳しい財務データは、
当社ホームページの
「IRライブラリ」をご覧ください。

ツバキモト IR 検索

<https://www.tsubakimoto.jp/ir/library/>

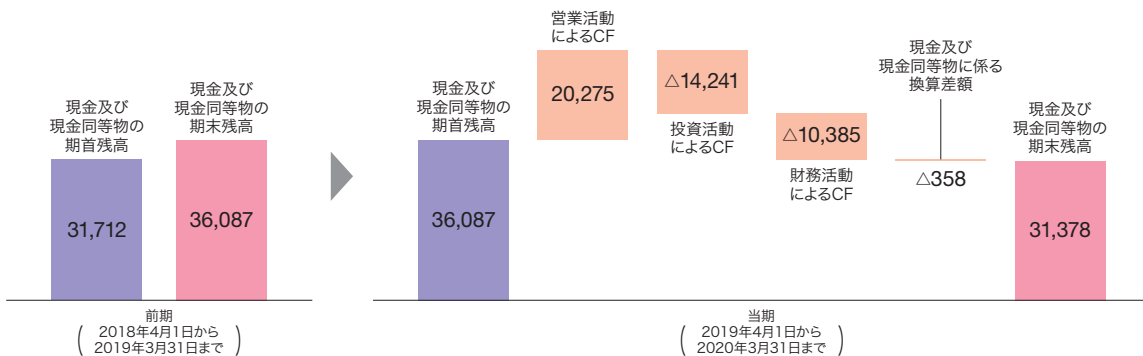
連結損益計算書の概要

(百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)



「電力充放電システム“eLINK®”を京田辺市へ寄贈」

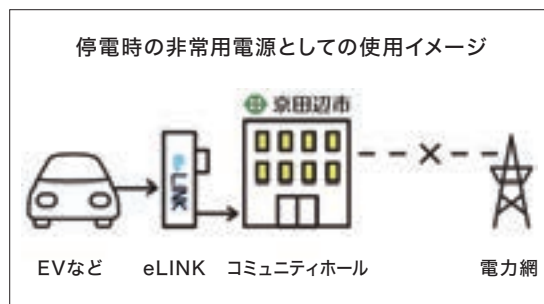
当社は、当社が開発した電気自動車（EV,PHEV）向け充放電装置「eLINK」を京田辺市へ寄贈し、2020年6月6日に京田辺市役所にて贈呈式を行いました。

「eLINK」は、電気自動車への充電だけでなく、停電時に非常用電源として電気自動車から電力を取り込み、公共施設やビル等への電力供給が可能な充放電装置です。京田辺市で産業用チェーン工場を操業していることから、京田辺市の防災・減災対策に役立てて頂くため、社会貢献活動の一環として同商品を寄贈しました。京田辺市では、大規模災害時に災害対策本部を設置する市役所駐車場に「eLINK」を設置し、今後の防災・減災対策に活用するとともに、平常時には電気自動車への充電装置として市民に開放する予定とのことです。

当社では、京田辺市の他、埼玉工場のある埼玉県飯能市、長岡京工場のある京都府長岡京市にも「eLINK」を寄贈する予定です。



京田辺市・上村崇市長(右)と当社・大原社長



つばきのCSR

「サステナビリティ基本方針」の策定

近年、企業が事業活動を通じて環境・社会・経済に与える影響を考慮し、長期的な企業戦略を立てていく取り組みは「コーポレート・サステナビリティ」と呼ばれ、新たなCSRの考え方として広く認識されるようになりました。当社も、企業活動を通じ、環境・社会・経済の総価値を上げる取り組みのための基本的な指針として、2020年4月1日付で「サステナビリティ基本方針」を策定しました。

サステナビリティ基本方針

つばきグループは、企業理念「TSUBAKI SPIRIT」に基づいた企業活動を通して、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、技術革新により企業価値向上を図り、社会から必要とされ続ける企業を目指します。また、経営の透明性を高め、ステークホルダーとのコミュニケーションにより信頼関係を深めます。

会社概要

商号 株式会社椿本チエイン
 本店所在地 大阪市北区中之島3丁目3番3号
 設立年月日 1941年(昭和16年)1月31日
 資本金 17,076百万円
 工場 京田辺・埼玉・長岡京・兵庫・岡山
 支社 東京・名古屋・大阪
 営業所 札幌・仙台・大宮・北陸・豊田・大阪北・広島・九州
 関係会社 連結子会社：64社 非連結子会社：7社
 関連会社：9社(うち、持分法適用関連会社1社)
 従業員数 連結8,733名 単体2,871名
 (従業員数には契約社員、パート、アルバイトを含んでおります。)

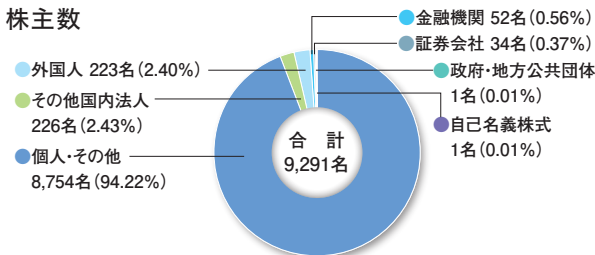
役員 (2020年6月26日現在)

代表取締役会長兼CEO	長 勇	上席執行役員	山本 雅彦
代表取締役社長兼COO	大原 靖	上席執行役員	宮地 正樹
取締役	鈴木 恭	執行役員	永井 康詞
取締役	山本 哲也	執行役員	堺和 伸光
取締役	古世 憲二	執行役員	熊倉 淳
取締役	阿部 修司 (※1)	執行役員	Kevin Richard Powers
取締役	安藤 圭一 (※1)	執行役員	揚田 利浩
取締役	北山 久恵 (※1)	執行役員	佐藤 功
取締役	田中 浩司	執行役員	丹山 太
常務取締役	川崎 加寸也	執行役員	中村 一智
常務取締役	碩 加三 (※2)	執行役員	石田 裕美
常務取締役	内藤 秀文 (※2)	執行役員	岡本 雅文
専務執行役員	川口 秀正	執行役員	井上 幸三
専務執行役員	大槻 忠宏	執行役員	明坂 泰宏
専務執行役員	木村 隆利	執行役員	西井 久雄
		執行役員	川上 修

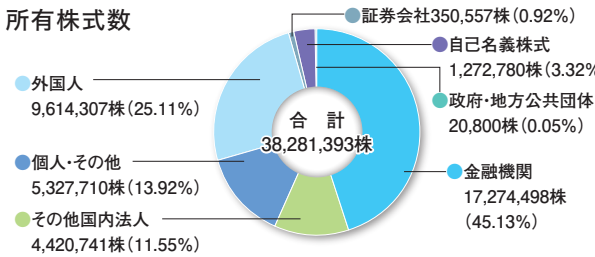
(※1) 取締役のうち阿部修司氏、安藤圭一氏および北山久恵氏は社外取締役です。
 (※2) 監査役のうち碩省三氏および内藤秀文氏は社外監査役です。

株式の所有者別分布状況

株主数



所有株式数



株主の皆様へのお知らせ

各種手続のお申し出先

- 住所変更、配当金の受け取り方法のご指定、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

区分	お申し出先
証券会社でお取引をされている株主さま	株主さまの口座のある証券会社
特別口座(証券会社に口座のない)の株主さま	三井住友信託銀行株式会社 (上記、電話照会先をご参照ください。)

株式の状況

発行可能株式総数 59,800,000株
 発行済株式の総数 38,281,393株
 株主数 9,291名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
太陽生命保険株式会社	3,559千株	9.61%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,500	6.75
日本生命保険相互会社	1,970	5.32
株式会社三井住友銀行	1,412	3.81
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,238	3.34
椿本興業株式会社	1,158	3.13
三井住友信託銀行株式会社	849	2.29
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	796	2.15
株式会社三菱UFJ銀行	712	1.92

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 当社は、自己株式1,272,780株を所有しておりますが、上記大株主には含めておりません。
 3. 持株比率は、自己株式1,272,780株を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031(フリーダイヤル) ※取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
公告の方法	当社のホームページに掲載 (事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載)

特別口座について

株券電子化の手続(証券会社の預け入れ)が済んでいない株式は、特別口座にて管理されています。特別口座は株式を売買するための取引口座ではありませんので、株式の売却の際は、あらかじめ証券会社の口座へ振り替えておく必要があります。詳細は、三井住友信託銀行株式会社(上記、電話照会先をご参照ください。)にお問い合わせください。

未払配当金の支払について

三井住友信託銀行株式会社(上記、電話照会先をご参照ください。)にお問い合わせください。